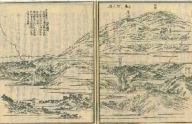


## 生石高原 歴史

生石山（生石ヶ峰）は、有田川町側山麓の高さ50メートルで、生石神社祭神でもある大岩を大石と表記していたものが転じて生石と書くことになったのに由来するとされています。

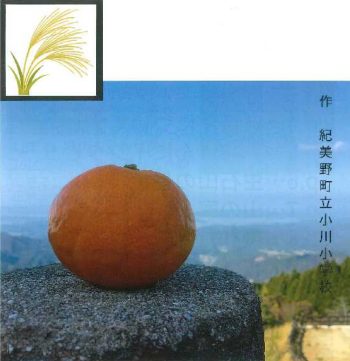


○スキ草原の歴史  
スキ草原は縮細なものです。簡単に他の草木に追いやられやすいからです。長い年月にわたりに手で管理されました。スキは昔から牛馬の餌、肥料、資材（障子紙、炭燐などの包装材）に使われました。そのためかつては貴重な資源地として村々が積極的に保全、利用してきました。1950年代以降生石山のスキが5分の1に激減しましたが、同時期に県立自然公園に指定され、里山として再出発しました。その後さまざまな取り組みを行い、現在では、紀美野町と有田川町で、スキ草原の保全を進めています。

○言い伝え  
山頂付近には、笠を伏せたようなかたちの巨岩がありその形から、「笠石」と呼ばれているこの巨岩は、弘法大師が置き忘れた笠が大きな岩となった物であると伝えられています。また、紀伊国名所図会第三巻の「生石観」には、北側に竜門山の主峰竜門山を望む龍に、生石山を谷にうずくまった虎に例える記述があります。

※写真提供：(財)生石高原自然公園 資料室コレクション <https://oik.ed.jp/info/odj/odj/000001/>  
アフィリエイトID: 202209131822

# 生石高原



作 紀美野町立小川小

## すすき

### スキに迫る

スキの保存方法について追ってみましょう。  
スキを刈ると、牛の餌や、資は屋根に使われていました。

### 山焼きについて

山焼きとは、スキを焼くという事です。「なぜ？」と思うかもしれませんが、それは、他の雑草を生やさないためです。燃やすことで、他の雑草の芽を焼いています。

### スキかりをしました！






上の写真のように、11月19日スキかりをしました！  
なぜスキかりをするかというと、上に書いてある山焼きの時に、炭が燃え広がりにくいからです。  
スキ刈りにはいるいる人が来ており、熱心にスキを刈っていました。  
藤たろ小生は、かっさスキの移動をしました。  
久しぶりのスキかりで、じつに二年ぶりです。


アレン曜日

## 生石高原とは？


紀美野町と有田川町にまたがる生石高原自然公園は、標高870メートルの山頂に、スキの大草原が広がります。スキの大草原からは360°の大パノラマが広がり、晴天時には六甲や淡路、四国まで見渡すことができます。



また、生石高原にはキャンプ場もあり、高いところから景色が見えるので、「天空のキャンプ場」と呼ばれています。そのキャンプ場は、16区画あり、車の乗り入れができる区画もあります。





生石高原は、秋のシーズンが特に有名ですが、珍しい草花も有名なので、春の草花や夏の青々とした景色(右写真)、そして冬の雪化粧の風景もきれいなので、一年通じて楽しめます。



参考資料:紀美野町ホームページ <https://www.town.kimino.wakayama.jp/sagasu/sangyoka/kankosangyo/oishikogen/1822.html>

## 「生石山」

ぜひきてね！！

## 山の家おいし売られているものまとめ！！

山の家おいしの歴史を紹介します。

1990(平成2)年、山の家おいしが開業しました。10月～11月のスキの時期が中心でしたが、最近は年間を通じて山の家おいしの来山者が増えてきています。



昔からあった食べ物も、あったけど最近行かなくなって、久しぶりに行くと、昔まではなかった餅かけご飯が新しくメニューに入っていました。またもう一回行って餅かけご飯やチャーハンも食べてみたいです。



山の家おいしではこのようなものも売っていました。






山の家おいし  
ぜひいってみてください！！

作品の一部を抜粋して掲載しています。